

令和元年度 第1回 にいがた交通戦略推進会議 質疑概要一覧

<基本計画（案）及び実施計画（案）について>

発言 骨子	要旨	回答
用語の 確認	○「目的バス」とは具体的にどこか。	○スクールバスや、病院への送迎便などを指している。付属資料の用語集へ説明を追加させていただく。
ICT 技術の 活用	○民間活力による新技術等の導入について、全国的にも MaaS に係る取り組みが活発化しているため、ICT 技術の活用の一例として MaaS を位置づけてはどうか。	○今後さまざまな ICT 技術が出てくることから、基本計画の中では、MaaS も含め、ICT 技術などの活用を促進するとしている。
交通 結節 点の 強化	○県で設置している「都市間高速交通ネットワークのあり方検討会」における議論を踏まえながら、高速バスに係る交通結節点の強化についてどのような取り組みをしていくのかイメージを構築する必要がある。	○本プランにおいても広域交通の連携は重要な検討課題と捉えているため、検討会における議論を踏まえて取り組みの検討を進めていく。
観光入 込客数 の遷移	○新潟市の観光入込客数の直近データが 2016 年としているが、最新データとして 2017 年の数値が出ているため、置き換えるべきである。	○ご指摘のとおり、最新データを反映させていただく。
燃料電 池自動 車の導 入支援	○燃料電池自動車の導入支援についても盛り込んでいただきたい。	○「基本方針：みんなで築き上げる交通戦略」の「⑩民間活力による新技術等の導入」において、環境に優しいバス、タクシーなどの導入を検討しており、燃料電池自動車も含めて検討していく。取り組みの方向性⑩の事例にFCV タクシーの写真を追加させていただく。